



日時：2022年12月14日(水)

10:00～11:40(休憩 10 分間)

場所：豊中市アクア文化ホール



認定 NPO 法人 大阪府北部コミュニティカレッジ

2022 年度 大学提携授業

講義の題名：『まちの物語を紡ぐということ』

～ネットワーク型のまちづくりの意義～

講師：山口 洋典 (ひろのり) 氏

立命館大学 共通教育推進機構教授・社会心理学者



### 【先生のプロフィール】

1975年静岡県磐田市生まれ。立命館大学在学中に、阪神・淡路大震災を経験。震災のボランティア活動を通じてNPOの活動に関わり始める。大学院在学中に、特定非営利活動法人きょうとNPOセンターの設立に参加。2002年より大阪大学大学院人間科学ボランティア人間科学講座(地域共生論)博士後期課程にて、上町台地からまちを考える会をフィールドにコミュニティ・シンクタンクの展開におけるグループ・ダイナミクスを研究。

2011年には立命館大学共通教育推進機構准教授となり、立命館災害復興支援室の設に携わり、東日本大震災の支援に取り組む。2019年5月より2021年3月まで立命館SDGs推進本部事務局長。2020年より現職。

### [ 講義の概要 ]

立命館大学よりリモートで以下の起承転結で先生のお話しが進みました。

1. 私とまち(づくり)の出会いと関わり：学びと成長の機会としてのボランティア
2. 「する—される関係」へのまなざし：あなたなら、どうする？
3. 「私」と「あなた」を結ぶ：他者に対して敬意を払い「私たち」という仲間に
4. まとめ：キーワード「シチズンシップ」を手掛かりに

### [ 先生のまとめ ]

人口減少やグローバル化の中、改めて地域に根ざした仕事と暮らしが着目されるようになってきました。とりわけ、長引くコロナ禍において、もう一度、人と人とのつながりを見つめ直した、という方も多いのではないのでしょうか。

今回の大学提携講座では、NPO やボランティア活動を通じた地域活性化 の実践事例から、いかにして住みごたえがある日常を生み出すことができるか、その担い手のあり方について深めます。NPO やボランティアが嫌い、あるいは参加するのが苦手、という方も、一人ひとりが「わがまち」への愛着を抱くこと、そしてそうした思いを共有しあうことのできる仲間づくりへの手がかりを得ていただければと願っています。 《立命館大学教授 山口洋典》



講義題名「まちの物語を紡ぐということ」 「する—される関係」へのまなざし

会場風景

以上